



士別ロータリークラブ会報

創立1960・3・24 RI第2500地区

vol. 25 No. 2124

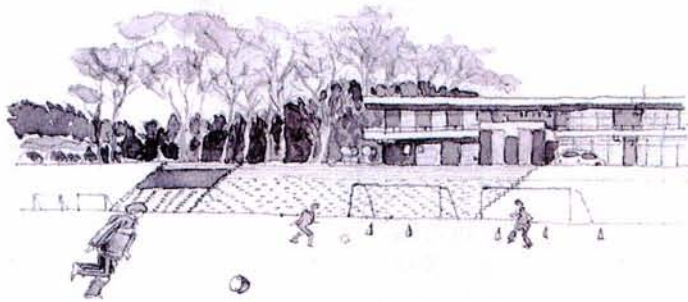
二世紀への出発 原点に戻ろうロータリー

超 我 の 奉 仕 。

百年を礎に原点に戻ってもう一度ロータリーを語ろう

2005～2006年度 RI会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー



百瀬達夫画

例会場／士別グランドホテル
 例会日／毎週月曜日 12:10～13:10
 事務所／士別グランドホテル
 TEL (0165) 23-1234

会 長／汐 川 泰 晴
 副会長／織 戸 俊 二
 幹 事／川 原 一 夫

士別河川防災ステーション (天塩川河川敷)

第2201回例会 2006年2月6日(月)

今日のプログラム ・普通例会 ・理事会

■前回(1月30日)の記録■ ・普通例会

司 会 藤吉敏博会場監督
 斉 唱 奉仕の理想
 本日の出席 出席率100% 会員65人中 出席者65人
 本日の欠席

メイクアップ
 ビジター
 ゲスト
 ニコニコBOX

泉谷勇 (息子さん全道高校アルペン大回転準優勝)

累計189,000円

例会予定

2月のロータリー月間「世界理解月間」・ロータリー創立記念		世界ローターアクト週間	
2月6日(月)	普通例会・理事会	3月6日(月)	普通例会・理事会
2月13日(月)	普通例会	3月13日(月)	普通例会
2月20日(月)	普通例会 (2月23日ロータリー創立記念日)	3月20日(月)	普通例会
2月27日(月)	夜間例会	3月27日(月)	夜間例会 (士別ロータリー創立記念日例会)

■会務報告

汐川泰晴会長

この度、普通例会への急拠変更のご案内に、会員の皆様方には大変ご多忙の中、諸般の事情をおくみいただき、ご協力いただきましたことを心よりお礼申し上げます。

就きましては、ご案内をいただいております士別商工会議所主催によるスポーツジャーナリストの増田明美さんを講師に招いて「人は、自分という人生の長距離ランナー」というテーマで、新春講演会が本日午後6時30分より、士別商工会館2階大会議室で開催されます。皆様方の多数のご聴講をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

さて、テレビ・新聞等のニュースでは、新年早々から、話題に事欠かない出来事が続いております。

建物の耐震強度偽装問題、ライフドアグループの証券取引法違反、また米国産牛肉の輸入再開早々のBSEの危険部位の混入問題など、企業の不祥事による政治不信がらみの社会問題が波紋を広げ、政治や、企業責任の追求が厳しく問われております。

国民感情としては納得の出来ない事ばかりでございますが、信用と信頼、安全と安心を揺るがす事の無い様に、社会秩序のルールをしっかり守って頂きたいと思うところでございます。

先般、元クラブ会員でありました布川茂登作さんが、昨年より健康を損なわれ肺炎との診断により市立士別総合病院に入院され治療に専念されておりましたが、病状が悪化し去る24日、92才をもって生涯を閉じられました。

慶弔規定の定めにより葬儀に参列して参りました。

ロータリー歴は昭和51年に入会、数々の職歴を歴任され、平成6年に退会をされております。

郷土・士別の商店街の振興に大きな力を注いで頂いた方でございます。心からご冥福をお祈り申し上げます。

■幹事報告

川原一夫幹事

1) 受信関係＝ロータリーの友2月号、抜粋のつづりその65、士別市自衛隊後援会より第21次ゴラン高原派遣輸送隊要員に対する見送り行事についてのご案内。

2) ロータリー財団年次寄付のお願いについて、前例会にて佐藤元信ロータリー財団委員長よりお願いとご説明を致しました。年次寄付は本日より募集しております。お1人11,800円、目標人数31人以上となっております。会計の方で受付をいたしておりますのでよろしく申し上げます。

■委員会報告

菅原清人ロータリー情報委員会委員長

○新入会員セミナー開催のお知らせ

日時：2月7日（火） 於：士別グランドホテル
会費：2000円 講師：百瀬達夫会員
出欠：川原幹事に連絡

■会員卓話「握手とコミュニケーションについて」

川原一夫幹事

今日は握手の話を見せてもらいます。

ロータリーソングの後に毎回会員の皆さんと、握手をいたします。自分の手と、比べて、暖かいなあ、冷たいなあ、強いなあ、弱く感じるなあ、どこか具合が悪いのかな？といらん心配をすることもあります。

少し前までは、うれしいことや、悲しいことがあったら、握手したり、抱き合って喜んだり、悲しんだり、子供が、悪さをしたら怒る、いうことを聞かないときはげんこつをする（将来人としての道を、誤らないように）、よいことをしたら褒める、先生も、親も、周りの大人も、今よりはもう少し感情を表に出していく社会のルールを教えたり、コミュニケーションとっていたように思います。

世の中便利さや、効率化、スピードを、追求するために、ますます非接触型の社会が進んでいるように思います。私も握手をするのは、ロータリーでの例会以外では、選挙の時くらいでございまして、なんとも寂しい気がいたします。

衣食住はもちろんのこと、社会の流れがますます偏った、世の中、このまま非接触型の社会が進みますと、皆同じ情報やマニュアルで金太郎飴のような、奇妙な世の中に、ならないかと心配になります。

子供の遊びも、子育て、料理のレシピ、教育、経営、その他諸々、わからないことがあれば、パソコン、インターネット、最近では、四角いバーコードを、携帯電話のカメラにとるなど、あらゆる情報やマニュアルを得ることが出来ます。

10人の考えかた、先輩やお年寄りの経験や、そんな人と人がもう少し接する、接触型の世の中が私は好きです。

人と人が接すれば、コミュニケーションや信頼関係が生まれます。ロータリークラブは、人と人のつながりを大切にする、接触型の集まりだと思います。

友情と連帯感を育みます。ロータリーの握手が、家庭や職場にもひろがり、大きな輪となって、お年寄りや子供たちを大切に、親を尊敬する、感謝をする温かな社会を築けないでしょうか？

皆さん早速今日から家族で握手をしてみませんか。

（※訂正）第2200回例会会報の委員会報告の中で以前最初に文章を書いた時の会員数（年度当初の63名）で計算したものに会員数のみを変更しただけで記載してしまいました。従いまして、「1.毎年クラスとして……」以降の文章で、64名で計算し直して読み替えて頂きたく様、お願い致します。尚、結果としまして財団の友として協力をお願いする人数は31名以上と言う事は変更有りません。

（佐藤元信ロータリー財団委員会委員長）